

《県指定文化財》

普門寺の『絹本著色釈迦涅槃図』 年に一度の一般公開

～2月11日午前9時から午後4時まで～

野田市下三ヶ尾の普門寺（ふもんじ）には、県指定文化財の『絹本著色釈迦涅槃図（けんぽんちゃくしよくしゃかねはんず）』が所蔵されており、2月11日（火・祝）に一般公開される。

釈迦涅槃図とは、釈迦が沙羅双樹（さらそうじゅ）の間で入滅（にゅうめつ）したときの光景を描いたもので、平安時代のものは、釈迦や諸衆を大きく表現し、動物や背景を省略しているが、鎌倉時代以降になると人物などを経典に忠実に細かく描く傾向になる。

普門寺の涅槃図は、主要人物のほか、動物も多く描かれ、中世末期の典型的な仏画の特徴がみられ、天文6（1537）年に「卜仙（ぼくせん）」という人物が描いたことを示す紙片が貼付されていることから、制作は天文年間と考えられている。

昭和57年4月6日に千葉県指定有形文化財になっている。

公開は、毎年2月11日午前9時から午後4時まで。拝観無料。

なお、普段は1月15日・16日と8月15日・16日のみ開帳している「閻魔大王像」（市指定文化財）も、この日は特別に開帳される。

※閻魔大王像は、承応元（1652）年造立のもので、平成2年3月28日に市の文化財に指定されている。

問合せ＝普門寺・電話 04-7138-0230

指定文化財のこと⇒生涯学習課文化財係・電話 04-7199-8595

野 田 市